

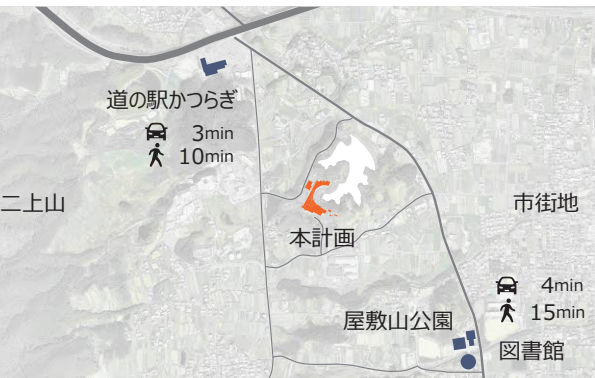
KATSURAGI Library of Things かつらぎの森につくる みんなの『物の図書館』

葛城市を満喫するために 道具や場所を借りることができるシェアリングハブ

欧州をはじめ世界中で広がっている Library of Things（物の図書館）を参考に、葛城市がもつ豊かな自然や暮らしをより楽しむための道具や場所を借りることができるシェアリング・ハブを提案します。住民が日用品を借りて自宅で使ったり、旅行の途中で立ち寄ってレジャー用品を1日レンタルしたり、貸スペースと工具を借りてDIYをしたり、多様な利用方法が可能です。物を使い捨てずに共有する、環境にやさしいライフスタイルです。

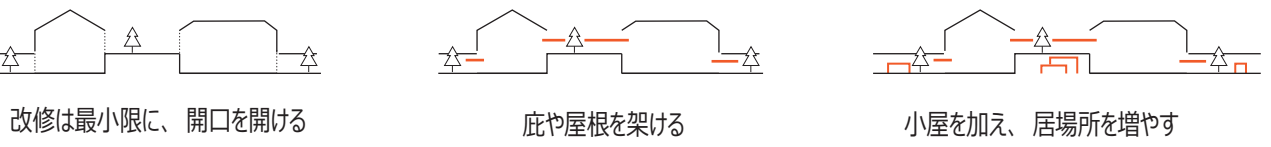


「道の駅」「図書館」と相乗効果を生む『物の図書館』の使われ方

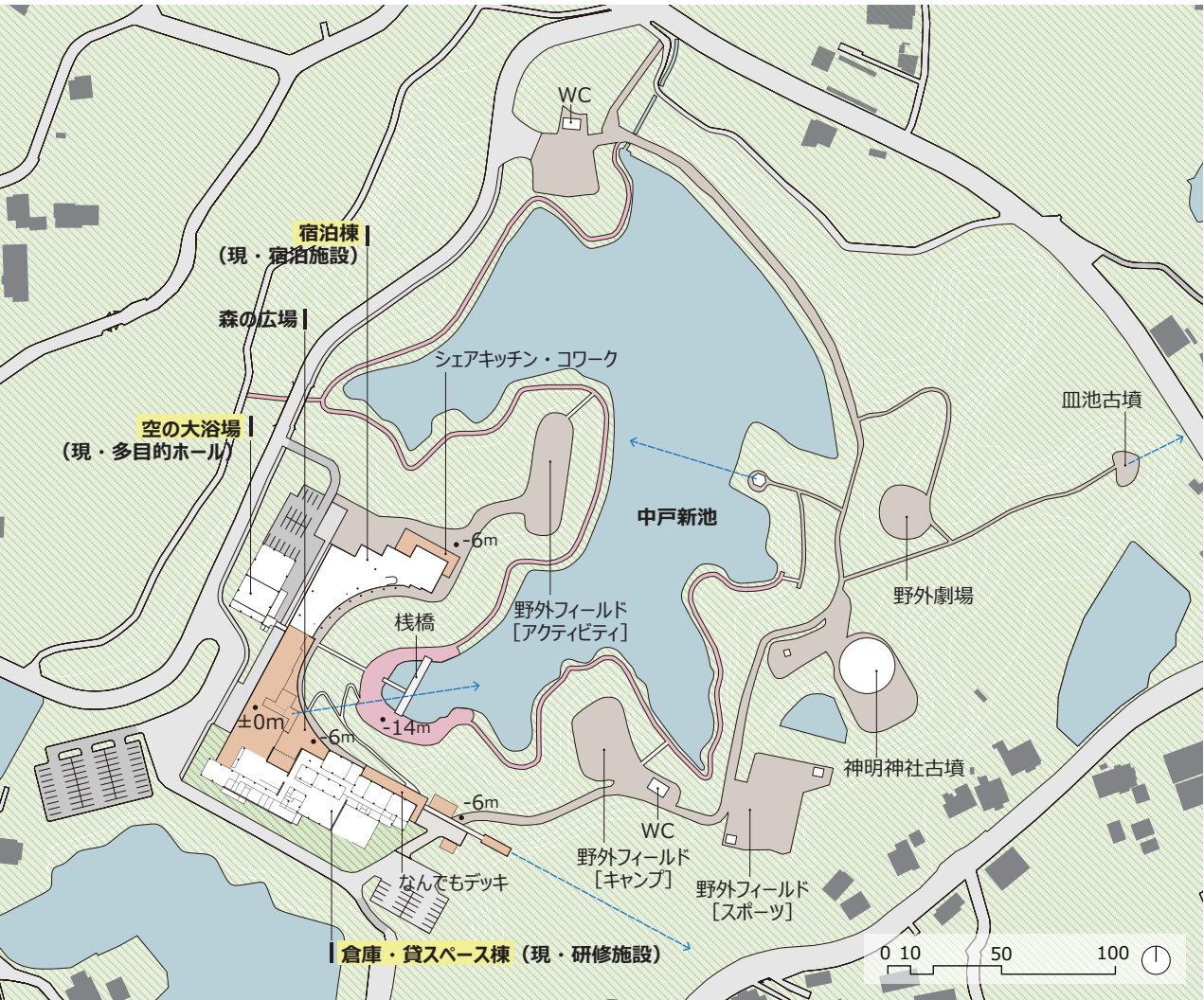
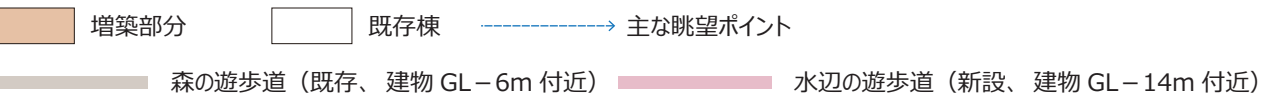


「物品貸出」「宿泊」「温浴施設」を主要機能としています。高速出口に近い「道の駅」との相乗効果『物の図書館』でアウトドア用品を借り、市内・県内でレジャーを楽しんで、返却時に道の駅と温浴施設に立ち寄るなど観光拠点として道の駅と組み合わせて利用が可能です。「図書館・中央公民館」との相乗効果本で読んだ空想の生き物を、実際に工作でつくってみる、といった知識とリアルな経験の行き来が生まれます。また施設間連携により季節のマルシェやイベントの同時開催などが想定できます。

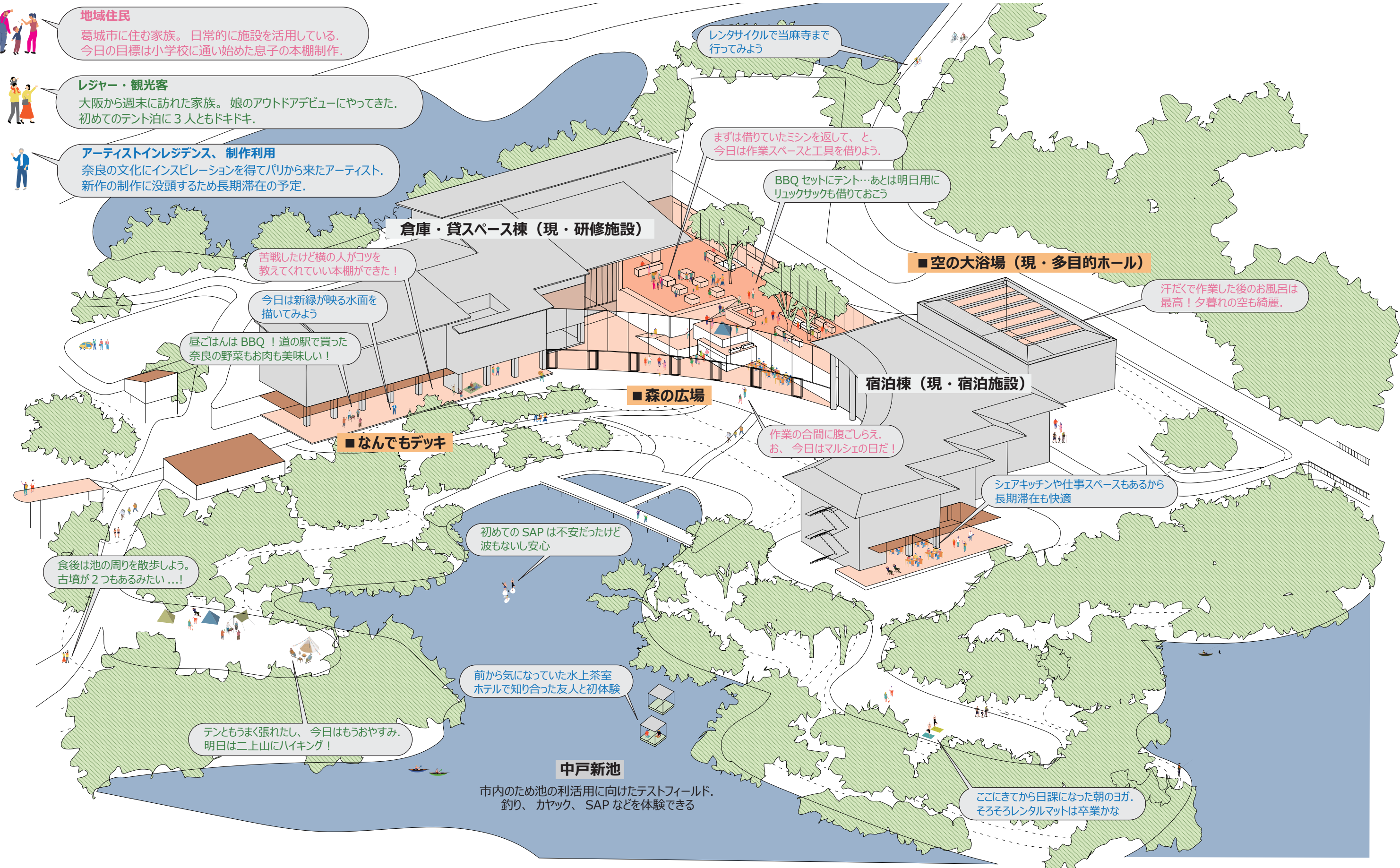
既存の分棟形式と高低差を活かして、葛城の森の自然に開いた居場所をつくります



建築に高低差を取り込み、森と水辺 2つの遊歩道で敷地全体を使いやすくします



異なる目的や背景の利用者が、道具や場所のレンタルをきっかけに空間・体験を共有



■森の広場 既存建物の間を屋根でつないだ大きな広場。物品の展示や貸出・返却受付があり、週末にはマルシェやフリーマーケットなど様々なイベントが行われる施設の中心。
■なんでもデッキ 既存建物の外壁を一部取り払い、庇を設けた半屋外空間。スペースをレンタルしてBBQもDIYもアート制作もなんでもできます。
■空の大浴場 多目的ホールの天井高と一室空間を活かした空と緑を感じる大浴場。

